



7月

『消費者トラブルから認知症の人・障害のある人を守る本』
全国消費生活相談員協会/中央法規出版/365 ㇼ

高齢者や障害のある人の家族や支援者に向けた、消費者トラブルを防ぐための手引き書。消費生活センターに寄せられた相談事例を紹介し、身を守る法律と制度を解説。関わりに応じた気づきと声かけも掲載。
誰にとってもトラブルは不安です。普段から知識を備えておきたいですね。



『人文知は武器になる』
山口周/文藝春秋/002 ㇿ

AI の進歩などによって常識や正解が激変する不確実な時代を生き抜くには、「人文科学」の知見が必要。人文科学がどのようにして思考を変え、判断を変え、行動を変えるのか、その作動原理を具体的に解き明かす。

『AI 用語図鑑』
増井敏克/翔泳社/007.1 ㇿ

AI に関する基本用語 256 語をイラストとともに提示し、用語の特徴を簡潔に解説する。G 検定・生成 AI パスポート頻出用語もカバー。

『ふりがな日本地図帳』
今尾恵介 [コラム監修]/平凡社/291 ㇿ

さまざまな地方色に彩られた日本の地名が読めるようになる。市町村名から大字・自然地名・名所旧跡までを含めた広範な地名にふりがなをつけた日本地図帳。見やすいよう自治体名や自然地名などは色分けして示す。

『皇居を愉しむ』
宝島社/291.3 ㇿ

皇居とその周辺だけの特別な風景を見つけるに行こう! 楽しい・おいしい・面白いが満載の皇居+周辺プランを紹介する。ほか皇室フォトギャラリーなども収録。綴込みの皇居イラスト MAP 付き。データ:2026 年 2 月現在。

『そうだったのか! 中東』
池上彰/ホーム社/302.2 ㇿ

なぜアメリカとイスラエルはイランを攻撃したのか!? なぜパレスチナ問題は解決しないのか!? 池上彰が、日本経済に大きな影響を与え続けている中東問題について基礎の基礎から解説する。

『世界の台所の間取り』
岡根谷実里/エクスナレッジ/383.9 ㇿ

家族が協働するフィンランドの台所、家の外にまで広がるインドの台所…。世界各地の家庭を訪れてきた著者が、台所の間取りや道具に注目し、暮らしに息づく知恵や工夫を精緻なイラストとともに解説する。

『イグ・ノーベル賞の受賞者たち』
ニュートン編集部[編]/ニュートンプレス/404 ヌ

人々を笑わせ、そして考えさせる研究に贈られる「イグ・ノーベル賞」。その研究の裏側には科学者としての真摯な姿勢が脈打っていた。「股のぞき効果の研究」など、2016～2025 年に賞を受賞した日本人受賞者たちに迫る。

『せかいのスズメ』
小宮輝之[監修]/カンゼン/488.9 ヌミ

ホオグロスズメ、インダススズメ、ハイガンラスズメ、コガネスズメ…。世界各地に生息する、個性豊かなスズメたちを一挙紹介するビジュアルガイド。スズメの基礎知識、しぐさなども掲載する。

『家に帰ったらクマがいた』
米田一彦/PHP 研究所/489.5 ㇿ

ある日家の玄関を開けると、黒くて大きな影が潜んでいた…。これまで 3000 回以上クマに遭遇し、9 回襲われ何とか生還してきたクマ研究者が、クマの知られざる素顔を紹介。

『スモッキング刺繍のある大人服』
秋田由季/文化学園文化出版局/593.3 ㇿ

糸の陰影や立体感が、上品で温もりある表情を添えるスモッキング刺繍を、大人の服に取り入れてみませんか。本格的なデザインから、直線裁ちで気軽に作れる服、パターンを使って仕立てる服まで紹介します。

『ハギレを出さないソーイング』
みらいパターン/日本ヴォーグ社/593.3 ミ

布を無駄なく使いきる「ゼロウェイストパターン」の手法を用いたソーイングを紹介。3 人の外国人パターンデザイナーがデザインしたパネル T シャツ、スパイラルワンピース、スカウトシャツなどの作り方とパターンを収録する。

『おいなりさんとのり巻きさん』
しらいのりこ/婦人之友社/596.2 シ

古くから行事食、おもてなしの定番として、多くの家庭で大切に守られてきた、いなり寿司とのり巻きのレシピ集。基本の味わいからあっと驚くアレンジまで、バリエーション豊かに紹介する。

『痛快! サボテン教室』
堀部貴紀/岩波書店/627.7 ㇿ

なぜトゲがあるのか? 草なのか、木なのか? 砂漠で生きていられるのはどうして? 上手に育てるには? サボテンにまつわる 46 の疑問に、科学的な側面からわかりやすく答える。

『自転車の交通ルールがわかる本』
コンデックス情報研究所[編著]/成美堂出版/681.3 ヌ

2026 年 4 月 1 日より、自転車の運転であっても交通ルールを守らずに青切符を切られると、反則金を納付しなければならない。新たに導入される青切符制度と自転車の交通ルールをわかりやすく解説する。

『山脇百合子の仕事部屋』
三鷹の森ジブリ美術館[企画]/KADOKAWA/726.6 ミ

「ぐりとぐら」「いやいやえん」など多くの人に愛される絵を描いてきた山脇百合子。好きなものや宝物たちに囲まれた仕事部屋からその作品と人柄を振り返る。三鷹の森ジブリ美術館で開催の展覧会の公式図録。

『なんとなくわかる茶の湯』
宇田川宗光/小学館/791 ヴ

お茶って堅苦しそう? サプライズ茶事で話題の著者が、茶会の深みにハマる楽しさを伝授。利休、信長、天皇、町人、数寄者、現代茶人たちのさまざまな茶会エピソードを通じて茶の湯の楽しみ方を紹介する。

『日本文学の翻訳者たち』
金原瑞人[編著]/平凡社/910.2 ㇿ

日本語の特異性や複雑さに向き合いながら、日々言葉と奮闘する翻訳者たち。翻訳家・金原瑞人が、日本文学の翻訳に携わる世界の翻訳者 7 名へインタビュー。文芸翻訳の仕事の裏側にある苦労や情熱をたっぷり語り合う。

『須賀のスガスガしくない話』
須賀しのぶ/集英社/914.6 ㇿ

コバルト文庫名物“あとがき”のノリで書きました! 少女小説から一般文芸書まで走り続けた著者初の雑談エッセイ。ゲーテ、高校野球、推し活、埼玉などをテーマにした元気が出る 17 話を収録。『青春と読書』連載を加筆修正。

『海をわたる言葉』
村井理子/クォンナミ/集英社/915.6 ㇿ

日本と韓国の翻訳家ふたりが、SNS での出会いをきっかけにメールで交わした、仕事、家族、親の介護と看取り、自らの健康や愛犬との別れ…。言葉を尽くし合う往復書簡。対談も収録。『よみタイ』連載に加筆修正。

『この家で死にたいと母は言った』
澤田康彦/集英社インターナショナル/916 ㇿ

実家でひとり暮らす 91 歳の母にがんの宣告。「まあまあ元気」と思っていた母の命のカウントダウンが始まり…。『暮らしの手帖』元編集長・澤田康彦による、「在宅死」を選んだ母との別れの記録。妻・本上まなみの寄稿も収録。

『魔女の体力』
イヨンミ/世界文化社/929.1 イ

本だけに打ち込んできた低体力で急げ者の編集者は、どうやって朝型の運動好きに変身したのか。一日中机の前で座りっぱなしで仕事をする、すべての働く人たちへ贈る、どんでん返しの体力エッセイ。

『もし血が流れれば』
スティーヴン・キング/文藝春秋/933 ヴ

中学校に届けられた爆弾が爆発、多数の死傷者が出た。現場からの TV 中継を見ていた探偵ホリー・ギブニーは、ある違和感に気づく。あのレポーターは、この事件が起こることを知っていたのではないか…。表題作を含む全 2 編を収録。

『あなたが正しくいられたとき』
芦沢央/文藝春秋/F ㇿ

河原で行われた同窓会バーベキュー。窪田は、かつての恋人が娘を川に突き落とすところを目撃し…。表題作をはじめ、日常に潜む人間の心の歪みや、「正しさ」が孕む危うさを鋭く描き出した全 6 編を収録。

『富嶽を駆けよ』
有馬桓次郎/祥伝社/F ㇿ

江戸時代、女人禁制の地として知られる富士山に登ることを夢みていた辰。ようやく嫁ぎ先が決まったものの叶えようもない大望を抱く娘に呆れながら、義父は「挑戦の期限は 1 年」という条件で辰を送り出し…。

『モナリザの裏側』
一色さゆり/新潮社/F イ

大好きな母親とルーヴル美術館を訪れた女性。パリ留学中に会ったという父と母の、ある絵にまつわる秘密を知ること…に…。名画に導かれる人々を描く全 5 篇。『小説新潮』掲載に書下ろしを加え単行本化。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。
また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。
※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ